

進路だより

福島県立西郷支援学校 進路指導部
福島県西白河郡西郷村大字真船字芝原 151-1

令和元年度 第5号 3月発行

TEL (0248) 25-3110

FAX (0248) 25-5087

卒業生の進路状況について

卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。卒業という節目を迎えて、たくさんの思い出がよみがえっているのではないのでしょうか。

小学部、中学部を卒業したみなさんは、同級生とともに4月から次の学部での生活が始まります。高等部卒業生のみなさんは、それぞれが選んだ道に進んでいきます。新しい環境でも、これまでにつちかった力を発揮しながら、また、サービスなどの社会資源を有効に活用しながら、楽しく健やかな新生活を送ってほしいと思います。

☆ 小学部 6名

進路先	人数
西郷支援学校 中学部進学	6

☆ 中学部 14名

進路先	人数
西郷支援学校 高等部進学（予定）	14

☆ 高等部 24名

◎ 福祉サービス 15名

進路先（所在地）	サービスの種類	活動内容
・ アイディ	就労継続支援A型	委託作業等
・ 地域生活サポートセンターエル白河（白河市）	就労継続支援B型	委託作業、パン製造等
・ 地域生活サポートセンターフラット白河（白河市）	就労継続支援B型	委託作業、パン販売等
・ 甲子の里希望の家（西郷村）	就労継続支援B型	委託作業等
・ こころん（泉崎村）	就労移行支援	委託作業等
・ なごみの家（白河市）	就労継続支援B型	委託作業等
・ あたご共同作業所（南会津町）	就労継続支援B型	割り箸製造、食品加工
・ 甲子の里希望の家（西郷村）	生活介護	軽作業、余暇活動
・ オープンハウス白河（白河市）	生活介護	軽作業、余暇活動
・ 白河めぐみ学園（西郷村）	児童福祉施設	作業活動等
・ 白河こひつじ学園（西郷村）	児童福祉施設	作業活動等

◎ 企業 7名（令和2年2月末現在） ※このほかに、3月以降に就職選考試験を受ける生徒が2名います。

進路先	業種
・ 白河ディスタ	物流
・ NTTデータだいち那須事業所	牧場管理、清掃
・ 介護老人保健施設ひもろぎの園	清掃
・ 株式会社大協製作所	自動車部品加工
・ 株式会社東北たまがわ	クリーニング業
・ アズビル金門エナジープロダクツ株式会社	ガスメーター製造
・ 白河厚生総合病院	リネン業務



2月14日 進路講演会の報告



演題：「働く生活」を支える」

講師：社会福祉法人こころん

ジョブコーチ・社会福祉士・精神保健福祉士 植木 千花 氏

講師をお願いした植木氏は、泉崎村にある社会福祉法人こころんの就労部門責任者をされており、本校でも高等部の産業現場等における実習で大変お世話になっている方です。今回の講演会では、「就労」「働く生活」に焦点を当てて、障がいのある方の就労支援に携わっておられる方のお話を聞きたいということで、植木氏に講演をいただくことになりました。

前半は、こころんの立ち上げから現在に至るまでの経緯や、こころんにおける就労に関する障害福祉サービスの内容、福祉サービス利用の流れなどについて、分かりやすい資料をもとにお話をいただきました。高等部を卒業して継続支援B型事業所を利用する場合には必ず行われる就労アセスメントの内容や、こころんでのサービス利用から企業就労までの細かな支援内容などについて、貴重なお話を聞くことができました。

後半は、カフェこころやで働くAさんとAさんを支えるこころんのスタッフの方の声（録音）を紹介していただいた後、こころんファームで働いている本校卒業生のBさんには、直接会場で働く生活の具体的な内容やこころんで成長したこと、企業で働きたいという目標などについてお話をいただきました。目標をもって働いているAさんやBさんは本当に素敵ですね。また、利用者の方々の働く生活を厳しくも温かい目で支えておられるこころんのスタッフの方々の存在の大きさを感じずにはいられませんでした。

参加者の感想

- ・就労支援事業所の種類の違いについて分かりやすく教えていただき、参考になるとともに、子どもの将来について考えるきっかけになった。（本校小学部保護者）
- ・本校卒業生や働いている方の生の声が聴けてよかった。目標をもって働く姿に感動した。（同様の感想が多数あり。）
- ・事例をあげて詳しい就労に至る流れや作業内容を知ることができてよかった。（本校高等部保護者）
- ・卒業生の生の声と合わせて、スタッフの方の意見も聞くことができてよかった。（本校小学部保護者）
- ・利用者の方が目標をもって取り組んでいること、それをこころんのスタッフがそれぞれに合わせて丁寧に支えているのを感じた（本校小学部保護者、本校小学部教員）
- ・進路について、実際の働く人の声や現状を知ることができた。（中学校教員）

参加者からの質問に一部お答えします

- Q. 将来の就労に向けて、在学中にどのようなことをがんばっていけばよいか？
- A. 小学部の段階から、挨拶、コミュニケーションの力、適切な言葉遣いなどを少しずつ身に付けていけると良いと思います。また、毎日休まずに通勤し、仕事を続けられる体力や働く意欲をもつことも大切です。
- Q. 支援学校の卒業生はどんな仕事に就いているのか？どんな生活を送っているのか？（一人暮らしをしているかなど）
- A. 今回の進路だよりに、今年度の卒業生の進路先一覧（高等部については2月末現在）を掲載しています。年度末に確定した進路先については、新年度に校内の進路掲示板に掲載するほか、西郷支援学校ホームページでも報告していきます。また、将来の一人暮らしを目標とし、生活スキルを身に付けるためにグループホーム等を利用している卒業生もいます。

西郷支援学校ホームページ：

http://www.nishigo-sh.fks.ed.jp/?page_id=106

→「進路指導について」→「卒業生進路先一覧」（PDF ファイル）

進路コラム 高等部 移行支援会議について

卒業後に福祉サービス事業所を利用する際には、福祉サービス事業所、相談支援事業所の相談員、市町村福祉課などと連携していくこととなります。また、企業就職をする際には、就職先だけでなく、県南障がい者就業・生活支援センターまごころステーション、ハローワーク、ジョブコーチなどの支援を受けながら就労生活を送ることとなります。また、学校側は「アフターケア」として支援期間の一つとして、卒業後3年間関わっていきます。

卒業時に、これらの関係機関が集まり「移行支援会議」を開催します。保護者および関係機関が連携し、役割を明確にすることで学校生活から社会生活へスムーズに移行できるようにすることを目的としています。